



まん延防止等重点措置が 実施されています！

令和3年9月1日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)

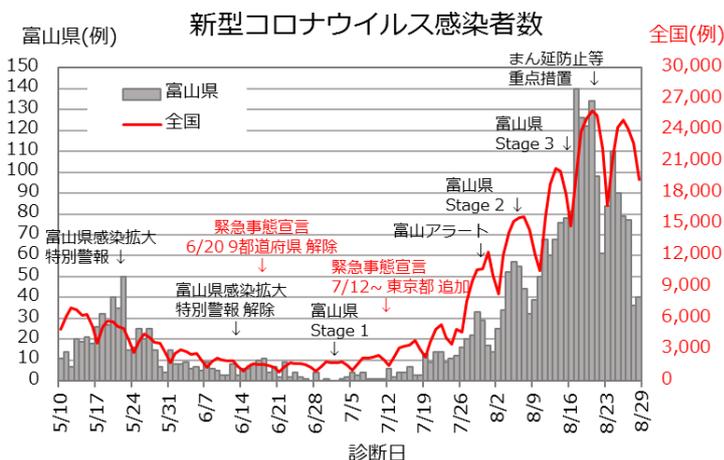
感染症発生動向速報

(令和3年第34週分・8月23日～8月29日)

《インフォメーション》

●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、8月29日時点で1,454,364例となり、15,946例の死亡が確認されています。全国で新規感染者数が急増し(図;折れ線グラフ)、高止まりが続いています。このため8月27日からは緊急事態宣言の対象が21都道府県に拡大されました。まん延防止等重点措置は富山県(8月20日より9月12日までの予定)を含む12県で実施されています。県内の今週の新規感染者数は516例報告され(図;棒グラフ)、8月29日時点の累積感染者数は4,338例になりました。県内での感染者数は8月20日頃をピークに減少傾向となっています。しかし、市中における感染拡大は現在も続いていると考えられます。これまで通りの基本的な感染対策を行いつつ、県内全域で昼夜を問わず、不要不急の外出や移動を控えることが求められます。また、県内各市町村でワクチン接種が進んでおり、積極的な接種が推奨されています。ワクチン接種後であっても感染対策の継続が必要です。



衛生研究所では、6月上旬から感染性が高いデルタ株を検出するためのL452R変異検査を実施しています。8月23日～8月29日のL452R変異検査は279件中279例(100%)が陽性となり、すべての感染例がデルタ株によると考えられます。変異株に対しても、感染拡大を防ぐための手指消毒やマスク着用、十分な換気、対人距離を保つといった個人が取り組むべき感染対策は同じです。デルタ株による感染拡大を防ぐため、引き続き高い緊張感を持って行動していただくことが重要です。発熱等の症状で医療機関を受診する際には、電話相談のうえ、かかりつけ医等の指示に従ってください。相談する医療機関に迷う場合は、受診・相談センター(076-444-4691;24時間対応)にご連絡ください。

《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 516件
- 二類感染症 結核 2件 (①第30週診断分:80歳代、男性 ②第33週診断分:90歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2件 (①30歳代、女性、O121、VT2 ②50歳代、女性、O157、VT1VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 4件 (①40歳代 ②50歳代 ③60歳代 ④70歳代 ①～④全て男性、肺炎型)
- 五類感染症 後天性免疫不全症候群 2件 (①40歳代、男性、無症候 ②40歳代、女性、無症候)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.17(↓)	1.52
2位	RSウイルス感染症	1.07(↓)	1.45
3位	水痘	0.31(↑)	0.14
4位	突発性発しん	0.28(↓)	0.34
5位	ヘルパンギーナ	0.24(↑)	0.17
6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21(↑)	0.17

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第34週 令和3年8月23日～令和3年8月29日）

分類	疾患	今週報告分（第34週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	42	31	109	35	286	13	516	334	258	965	257	1,856	88	3,758
二類感染症	結核								10	6	25	11	33		85
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1		1		2		1	6	1	4		12
四類感染症	E型肝炎								3				1		4
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症			2		2		4	1	3	12	1	7		24
五類感染症	アメーバ赤痢								1						1
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	2	3		7
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										3	1	2		6
	後天性免疫不全症候群				2			2	1			2	1		4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		10		13
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	4		17		23
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風										1				1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症			2	4	24	1		31	129	125	1,570	376	814		3,014
咽頭結膜熱		1				2		3	35	38	132	7	141		353
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		2		3		6	62	37	438	82	216		835
感染性胃腸炎		12	7	6	1	8		34	592	317	502	180	1,134		2,725
水痘			2		3	4		9	1	8	27	13	40		89
手足口病									7		13	2	12		34
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん		1		3		4		8	45	29	114	45	104		337
ヘルパンギーナ			2	4		1		7	25	4	80	3	15		127
流行性耳下腺炎									2	2	8	5	12		29
流行性角結膜炎		1						1	2	1					3
細菌性髄膜炎													2		2
無菌性髄膜炎													2		2
マイコプラズマ肺炎											1	7	1		9
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1						1
インフルエンザによる入院患者（※2）											1	8			9

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週（8月31日）～の集計です。